

【第2回】 『もっとやる気を出してよー！』 子どものやる気が10倍持続する褒め方

- やる気の仕組み
- やる気を出してほしいときのNGパターン
- やる気を持続させる方法
- 今回の振り返り

前回の振り返り

- 前回決めたことはなんでしたか？

- どのくらい達成できましたか？

- 次に活かせることはなんですか？



やる気の仕組み

- どんなときに子どもに対して「やる気を出してほしい！」と思いますか？
どんなことに対して「やる気が持続したらいい」と思いますか？



宿題や勉強に対してやる気を出してほしい。

帰ってきたら、まず宿題をしてほしい。

やることをやってから、テレビを観たり、遊びに行ったりしてほしい。

- 今はどんな状況ですか？何点くらいできていますか？

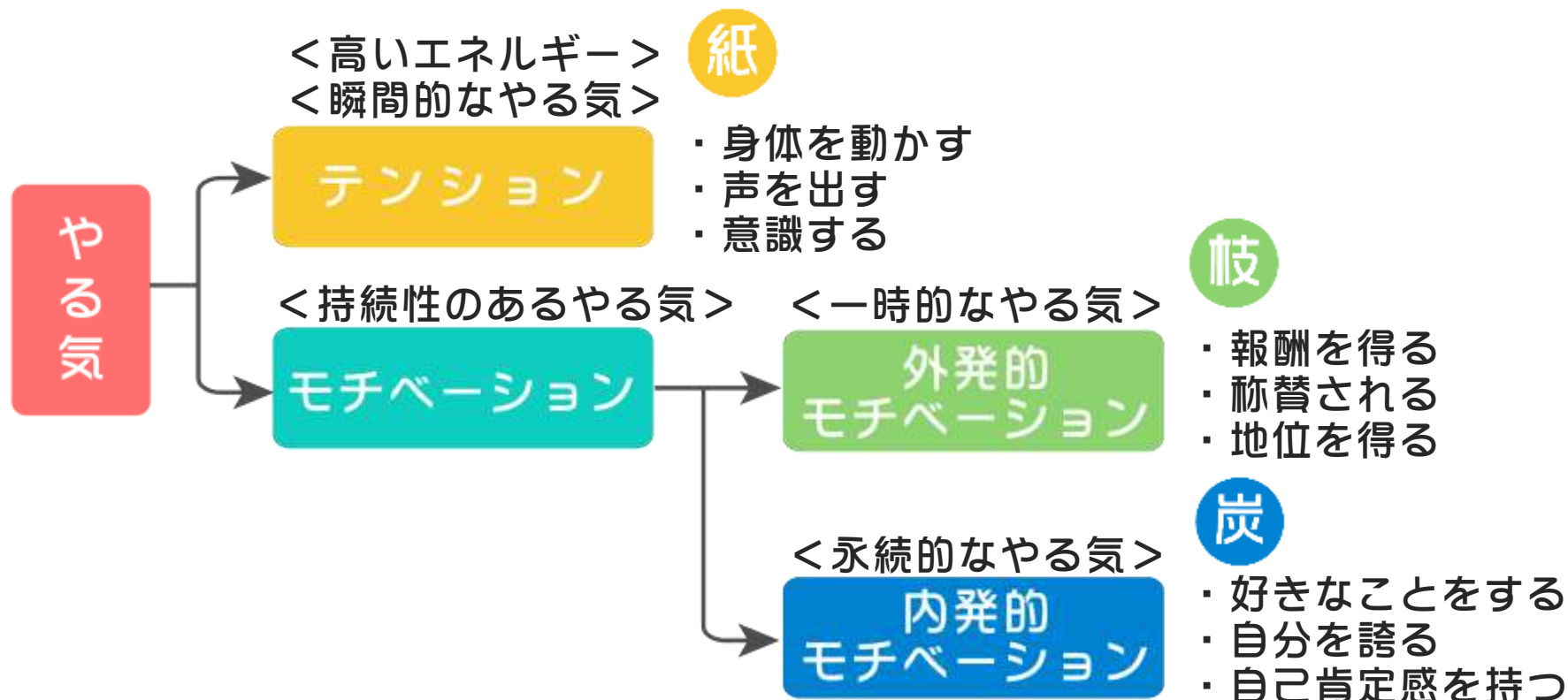
塾の宿題はやるけれど、学校の宿題はやらない。

夜22時を過ぎてからや、ひどいと学校に行く直前にやっている。

60点。

やる気の仕組み

- 3種類の「やる気」



やる気を出してほしいときのNGパターン

- 反発心を利用していませんか？



- NG 1 : まだできないの？
- NG 2 : あの子はできてるよ？
- NG 3 : やらないならやめなさい！

- 子どもがやる気を出したとき、どんな言葉を言いたいですか？



さすがだねー！

やればできるじゃん！！

もう終わったのー？すごい！！

やる気を持続させる方法



・今、子どもが当たり前にできていることを書き出しましょう。

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ・ <u>学校に行く</u> | ・ <u>ゲームをする</u> |
| ・ <u>食事の後に食器を片付ける</u> | ・ <u>私のスマホで写真を撮る</u> |
| ・ <u>朝自分で起きてくる</u> | ・ <u>ひとりでお風呂に入る</u> |
| ・ <u>観たいアニメの録画</u> | ・ <u>着替えをする</u> |
| ・ <u>妹の面倒を見ること</u> | ・ <u>ひとりで歩く</u> |

・それは、どうしてできているのだと思いますか？

みんながやっている当たり前のことから
毎日のことと言いつづけた
自分がやりたいことから
褒めていたらやるようになった

やる気を持続させる方法

- こんな褒め方、していませんか？
 - 一般的な基準と比較する（5歳なのにすごいね！）
 - 他人と比較する（あの子より速かったね！）
 - 成果にだけ注目する（100点なんてえらいね！）
- 言い換えましょう
 - 本人の過去と比較（そんなことができる力がついたんだね！）
 - 過去から続く現状の承認（できることがまた増えたね！）
 - 目指す姿の実現（どんどんお姉さんに(かっこよく)なるね！）
 - 未来の拡大（もっといろいろなことができるようになるね！）
 - 他人への影響（あなたを見てるとママもがんばろうと思う！）



子どもの**向上心**と**可能性**を信じて

本人の**成長**や**変化**に注目しましょう。

今回の振り返り

- 今回、新たに気づいたこと、学んだことはなんですか？
- まずは何をしてみますか？(いつ・どこで・誰に・なにを・どのように)

ここから感想を送ってね→

それ、やろうね。できるからね。気づいたことを教えてね。

やまだともこ

